

事務事業名		図書館運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業			
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	1 4 生涯学習の推進				会計	款	項	目
	基本事業名	0 1 学習環境の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	10	05	05
根拠法令		図書館法		事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)			
所属	部課名	企画政策部市立図書館							
	課長名	金野 優子							
	係名	総務係	電話	26-4478					
	担当者	森 友之	内線						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
大船渡市立図書館の運営や施設管理に関する事業。 主な業務は、 ①大船渡市立図書館協議会を開催し、委員(任期2年)から図書館運営等に対する意見をいただく。 ②図書館運営に係る専門的な知識等を習得するための職員の研修。 ③図書館だよりの発行や、市の広報、図書館のホームページにより図書館の情報を提供する。 ④施設・設備の管理等の委託、修繕等。 ⑤移動図書館車の維持管理。 ⑥岩手県立図書館をはじめとする他館との連携等。 事業費は、図書館協議会の運営費や職員の研修、施設・設備に係る光熱水費・燃料、修繕料、委託料等に支出される。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
大船渡市立図書館協議会開催(年2回)/各種図書館職員専門研修等受講/図書館情報の提供(図書館だよりの発行、HP更新、新聞社への情報提供等)/施設管理の委託/移動図書館車の維持管理 等		ア	職員研修参加・会議出席回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	図書館情報提供回数
図書館協議会は2回開催、各種外部研修等は6回程度の受講等を予定している。その他は前年度と同様。		ウ	施設管理等委託件数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		カ	人口
		キ	図書館利用登録者
		ク	図書館延べ床面積
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
図書館のサービス、催事等の周知を図るとともに、施設・設備を良好に管理することにより、多くの人に安全で快適に図書館を利用してもらう。		名称	
		単位	
		サ	図書館資料の貸出点数
		シ	図書館資料の貸出者数
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	各種サービスの利用回数
学習に必要な機能を備えた施設・設備を利用できる。生涯学習に関する情報が容易に入手できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	16,974	18,530	19,071	19,157	18,520	18,520
	事業費計(A)	千円	16,974	18,530	19,071	19,157	18,520	18,520	
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	1,680	1,680	1,430	1,618	1,618	1,618
		人件費計(B)	千円	9,640	6,720	5,720	6,472	6,472	6,472
		トータルコスト(A)+(B)	千円	26,614	25,250	24,791	25,629	24,992	24,992
⑤ 活動指標		ア	回	16	16	9	11	15	15
	イ	回	171	197	200	166	170	170	
	ウ	件	15	15	15	17	17	17	
⑥ 対象指標	カ	人	38,167	37,633	36,933	36,234	36,335	36,437	
	キ	人	13,823	14,618	15,711	16,293	17,108	17,963	
	ク	m ²	1,415	1,415	1,415	1,415	1,415	1,415	
⑦ 成果指標	サ	点	153,641	150,653	140,594	134,222	140,933	147,980	
	シ	人	27,852	27,685	25,340	24,325	25,541	26,818	
	ス	回	3,860	4,332	4,539	4,075	4,279	4,493	

事務事業ID	0873	事務事業名	図書館運営事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和27年の図書館設置条例により図書館を設置。


② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
年々、利用者のニーズが多様化するも、地域を支える情報拠点としての社会的存在意義が高まり重要性が増した。平成20年度に、新施設(リ阿斯ホール)に移転した。移転から10年が経過し、設備等の修繕が年々増加している。加えて、移動図書館車は、29年度において主要構成部分であるエンジンに故障が発生し、運行の休止を伴う修理が必要となるなど、経年劣化が顕著である。車両の更新について市総合計画に搭載を検討するなど、具体的な更新について庁内合意を形成する時期となっている。
また、各種電子メディアの普及等、利用者を取り巻く情報環境が多様化しており、対応するサービスの提供が求められている。ハード面においては、資料管理に関する新たな技術(ICタグ等)が普及しつつあり、状況を注視していく必要がある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
利用者より、各種資料の充実、幅広い情報の提供など、図書館サービスの向上や快適な利用環境の提供を要望されている。
また、図書館協議会においては、移動図書館車の更新、利用者へ居心地のよく過ごしてもらい再来者を増やす、利用者と図書館との相互のやりとりが重要、子どもの居場所としての活用、計画的な図書購入などの意見があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 図書館機能の充実・良好な管理は、市民が自ら学ぶための学習環境を提供する機関として、生涯学習の充実に直結するので、上位施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共財としての側面が強く、生涯学習、社会教育を提供する機関として高品位のサービスを保つ必要がある。また、当地域においては民間による同等サービスの提供は見込めないことなどを勘案し、妥当と考える。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 図書館のサービスは、住民全てを対象とすることから、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より一層、積極的に図書館から情報を発信・(資料提供)することにより向上が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 生涯学習環境が悪くなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 カウンター業務など、図書館業務の一部委託をしている例が県内にある。一方で、移動図書館車両は経年劣化が激しく、小学校ほか高齢者福祉施設などで今後ますます需要が見込まれることから車両更新の必要があることから、削減することは難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 カウンター業務など、図書館業務の一部委託をしている例が県内にある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 図書館は公共財としての側面が強く、その利用条件は無料原則に基づき市民全てに公平であることから、受益の機会、費用の負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む)  ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 外部委託に向けた、業務の見直し。 移動図書館車の運行を継続していくため、車両の更新が必要である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	移動図書館車の運行は、高齢化が進む中今後ますます需要が高まると予想される。市民の生涯学習環境を充実するため、車両を更新する必要がある。 業務の一部委託による人件費の削減など、経費削減について深く検討していく必要がある。